

令和7年度第2回宗像市学校給食審議会議事録(会議内容の要点)

日 時

令和7年11月5日(水) 10:00~11:05

会 場

宗像市役所北館2階 202会議室

出席者

審議会委員			
梅木 陽子 (福岡女子大学 准教授)	○	占部 由紀 (赤間西小学校保護者)	○
正路 澄代 (玄海東小学校長)	○	水牧 優 (自由ヶ丘小学校保護者)	○
杢形 美奈子 (南郷小学校長)	○	神山 翔伍 (河東小学校保護者)	○
村山 正治 (城山中学校長)	欠席	上野 結加里 (日の里中学校保護者)	○
西島 潔 (自由ヶ丘中学校長)	○	告坂 聖子 (玄海中学校保護者)	○
阿部 龍彦 (大島学園校長)	○		
事務局			
中村教育部長			
(安全安心な学校づくり課) 椎葉課長 浪瀬主幹兼係長 秋葉			

※村山会長が長期休業中のため、宗像市学校給食審議会規則第4条第4項に基づき、水牧副会長が会長職務を代行。

【議事録署名委員】西島委員、上野委員

1. 議 題

- 1、あいさつ
- 2、議事
 - (1) 学校給食用物資上昇率
 - (2) 学校給食費の試算
 - (3) 次期改定の指標について
- 3、その他
 - 第3回学校給食審議会日程について

2. 資料

学校給食用物資上昇率	資料1～5
学校給食費の試算	資料6～9
次期改定の指標について	資料10

3. 議事内容について

(1) 令和8年度における学校給食費について

事務局提案事項	議決内容
令和8年度の宗像市立小中学校における一食分の給食費を試算するにあたり、令和7年度から令和8年度にかけての上昇率を何%とするか。事務局としては、お米は30%、その他物資は3%を基本とし、総務省の消費者物価指数や農林水産省の価格動向調査、関係機関への聞き取りに基づきパンや肉類などは個別に上昇率を設定するものとする。 上昇率が上記の場合、令和8年度一食分給食費単価は、小学校・前期課程で336円、中学校・後期課程で420円としてよろしいか。 なお、上記給食費単価には、国の無償化や市の補助額を含まず、子どもたちがとるべき栄養量を満たし、質を落とさずに提供するための単価についてご審議いただきたい。	事務局の提案どおりで承認。 上昇率決定に伴い、小学校・前期課程の一食分給食費単価は336円、中学校・後期課程で420円とする。 ※質問事項は下記に示す。意見はなし。

【質問事項】

質問1	委員：今年度も物価の高騰は続いていると思うが、現時点での今年度の給食費の運用状況と、2学期・3学期に向けての見通しを教えてほしい。 事務局回答：現状としては、今年度の給食費単価を超えている学校、下回っているところ、過不足ないところなど学校によっても異なる。2学期以降については、生鮮野菜の価格変動によるところもあるが、各校で使用状況を確認しながら調整していくことが考えられる。今のところ、学校側から給食費が不足しているという報告はきていない。
-----	---

質問2	委員:昨年度の審議会でも試算表を提示してもらったが、その際に令和 6 年度から令和 7 年度にかけての上昇率を見越して試算されていたと思うが、実績として、想定していた上昇率の範囲内で収まったのか。もし、想定していた上昇率よりも超過する食材が多いのであれば、今年度の上昇率も少し上乘せしてもいいのではないかな。 事務局回答:お米については、想定した上昇率を上回る結果となったが、その他の食材については5%の上昇率で見込んでいたものの、予想を下回るものもあったため、今年度は総じて設定した単価で運用できている。 来年度の上昇率についても、食材によっては、予想を上回るもの、下回るものなどがあることが想定されるが、現時点では概ね3%とし、食材によってはそれよりも高い上昇率を設定している。 教育委員会の給食費の補助以外に、農林水産部門からの補助もあり、宗像産の水産物を安価に提供してもらっている。今後もそういった補助金も活用していきたい。
質問3	委員:精米価格が高騰している状況でも、給食では県産米を使用しているということで、大変ありがたい。給食費の中でもお米が占める割合は高いのではないかな。現在、米飯給食は週に 4 回、パン給食は週に 1 回だと思うが、その方針は今後も変わらないのか。また、麦や雑穀米を増やす予定はあるか。 事務局回答:本市の給食は和食中心としているため、米飯給食を基本としている。しかし、子どもたちに世界の国や料理について知らせていくため、パン給食も週に 1 回は行っている状況である。米飯給食の回数については、週に 4 回を維持する予定である。 麦や雑穀米については、学校にもよるが今でも給食に出している。それは経済的な面からというよりも栄養面や多様な穀類を知らせるという目的でだしている。

(2) 次期給食費改定の指標について

事務局提案事項	議決内容
令和6年度の本審議会で次期給食費の改定の指標について、福岡県学校給食会の一般物資の上昇率、消費者物価指数(食料)のうち、いずれかが3%上昇した際に改定の検討を行うと示されている。 次期給食費の改定の指標は、上記のとおりとしてよろしいか。	事務局の提案どおりで承認 ※質問事項、意見はなし。

(3) その他

【質問事項】

質問 I	委員: 中学校の給食費の無償化について署名活動の動きがある。本審議会に参加するようになり、子どもたちの給食のために議論を重ねていただいていることがわかったので、そういった活動をしている方々に市の働きかけをお伝えしていきたいと思っている。 もし、署名が集まり、提出となった場合に、宗像市としては財源確保を含めてどのように検討しているのかお聞かせいただきたい。 事務局回答: 給食費の無償化を実施している他の自治体では、国の補助金が付くときだけ無償化して、翌年度は補助がつかないから無償化しないというところもある。しかし、そうなると保護者や学校も混乱することになる。また、限られた予算の中でやりくりしようとする、食材の質などに影響がでることは明らかで、他にもいろいろなリスクが考えられる。 本市としては、保護者の皆様にはご負担いただけたところはしていただいて、物価高騰の部分は市で補助を行い、子どもたちには地場産物をふんだんに活用し、温かくて美味しい質の高い給食を継続的に提供していきたいと考えている。このことについては、議会でも説明を行っているところである。 また、国による無償化がなされ、継続的に、かつ、安定的に実施できるようになったら、その制度を活用していきたいと考えている。
------	--

【意見】

意見1	委員：第1回の審議会で「むなかた育ちウイーク」や食育の取り組みに関する報告があったが、給食費が厳しい中でも様々な取り組みをしていただいていて、教育の手立てとしての給食の在り方について教えてもらった。 これらの取り組みが、物価高騰などの経済的な理由によって、回数が減ったり、質が下がったりすることがないようにしてほしい。
意見2	委員：来年度に向けて、もっと値上がりすると思っていたので、意外に上がり幅は小さいと感じた。仮に市の補助金が適用されることになれば、保護者負担額は変わらず、保護者としては「結局変わらないのか」と理解し、受け流されてしまうのではないかと。保護者に対しては、いつまでも市の補助制度が続くわけではないこと、国の補助金が交付されなくなった時にどうなるのかという情報も含めて発信していった方がいいのではないかと。これだけ税金を使って給食を提供していることを、全ての市民の皆様知ってもらうことも大事なのではないかと。 また、これだけいい給食を提供していても、残食があり、子どもたちがしっかりと食べられていない現状が少なからずある。学校だけではなく家庭での食育もしっかりやっていかないといけないのではないかと。

4. 第3回学校給食審議会日程について

今年度、諮問した事項については、審議会としての意見をとりまとめることができたため、本内容に関して第3回は書面決議とし、副会長が代表して、教育委員会に答申を行うこととする。

令和7年12月3日

署名人 西島 潔

署名人 上野 結加里